

くめじま

議会だより

2012.3.1

No.39



12月定例会

久米島高校園芸科存続危機

12月議会で決まったこと	2
町政を問う 一般質問	4
抗議決議・臨時会で決まったこと	5
新体制スタート	14
議会のうごき	15
旭単光章受賞 山城次郎さん	16

たくさんの花を咲かせたい ☘

中央保育所 (手話ソング「花さき山」)

どうなる!?

久米島の未来

久米島高校園芸科存続危機

久米島高校園芸科の廃科は絶対にイヤ

久米島高校園芸科2年 山城美代

11月上旬、沖縄県教育庁から久米島高校園芸科の廃科の素案が出されました。そのことを聞いた私は、悲しさと同時に怒りの気持ちが湧いてきました。

もしも園芸科が廃科になれば、農業や草花、自然環境を専門的に勉強したいと思っている子どもは、今後どうすればいいのでしょうか？沖縄本島には幾つかの農林高校がありますが、久米島には久米島高校しかありません。経済力の無い家庭ではどうすれば良いのでしょうか？

私は中学校3年の初の頃、自分の進路について真剣に考えました。小さい頃から植物や生き物にも興味があった私は、それを専門的に勉強したいと思うようになり

ました。そして進学先を久米島高校園芸科に決めました。

しかしそんな中、ある日突然、久米島高校園芸科の廃科の案が出ていることを知りました。それを聞いた私は、とても不安な気持ちになりました。「園芸科が無くなったら、私はどこに進学すればいいの？」私は沖縄本島の高校も考えました。ですが、私の家は母子家庭なのでそのような経済力はありません。私には久米島高校園芸科しか進学する場所が無かったのです！だから私は久米島高校園芸科が廃科になるのは絶対にイヤでした。

その後、学校関係者の方々、島中の方々の応援や署名運動があり、廃科の案は取り消しになりました。そして私は久米島高校園芸科に進学することができました。ですが2年後の今、再び園芸科廃科の案が出さ

れました。私のように不安に思っている中学生がいるかも知れないと考えたら、とても悲しい気持ちになります。

私は、久米島高校園芸科に進学してたくさんのことを学びました。もちろん今も勉強中です。そして私たち園芸科の生徒は、園芸科の発展と久米島の活性化のために、たくさんのことを頑張っています。

例えば、久米島マラソンや久米島町産業祭りでの草花配布、空港前の花文字作成、毎年11月の即売会、無人販売所での新鮮な野菜販売、さらに久米島の特産物である芋を使ったお菓子の新商品作り、またバイオテクノロジーでのウィルスフリー苗の研究、さらにカフラナゲシコや久米島椿などの貴重な植物の保護活動など、私たち園芸科は地域にたくさん貢献をしています。

また島外の活動では、沖縄県内の農林高校の代表が集まる農業クラブのリーダー研修に参加し、

同年代の高校生と未来の沖縄の農業について話し合いました。そして農業高校生の知識と技術を競う大会である「農業クラブ大会」に参加し「フーアレンジメント競技や意見発表などで活躍しました。さらに今年から6泊7日の「台湾研修」に参加し、最先端の農業や工業などを学習に行ったりと、私たち園芸科は久米島の中と外で、日々一生懸命に頑張っています。

そんな中、いきなり園芸科廃科の案が出たら、私も、クラスメートも、島の人たちも、そしてこの会場にいる皆さんも、怒るのは当たり前なのではないでしょうか？

私は久米島高校園芸科に進学してとても充実した毎日を送っています。園芸科はとても特色ある学科です。普通科には無い魅力がたくさんある学科なのです。

こんなに素敵な園芸科が、久米島から無くなってしまう…。私は、この素案に、絶対に反対します。



久米島高校 園芸科がなくなる？

「園芸科の募集を停止し、普通科2クラスの高校に」と昨年11月初旬に久米島高校について「県立高等学校編成整備実施計画」の素案で県教育庁が示した。久米島高校園芸科の志願率低下と恒常的な定員割れなどが主な理由だ。農業の島である久米島にとって園芸科の廃止は大問題である。

園芸科の廃止に 反対だ！

園芸科の廃止は容認できない。町議会では平成23年12月8日（木）に行



われた臨時議会において「県立高等学校編成整備実施計画」の素案に反対し久米島高等学校の現状維持を求める要請決議を全会一致で可決。

12月11日には、久米島高校園芸科の存続を求める町民総決起大会が貝志川農村環境改善センターで行われた。主催は久米島町と久米島高校の存続・発展を考える会（山城幸久会長）。会場には300人余りの町民らが駆けつけた。生徒代表の山城美代さん（久米島高校園芸科2年）は、久米島空港前での花の装飾や町の行事等での取組などを紹介。普通科にはない魅力があること、充実し

た毎日を送っていること「園芸科が廃科になるのは絶対にイヤ。」と息を詰まらせて訴えた。（原稿全文を2ページに掲載）

園芸科の存続を要請

喜久里議長は、臨時議会において可決した決議書を手し、12月13日（火）県知事、県議会議長、県教育長を直接訪問し、要請を行った。平良町長、比嘉教育長らと共に行った要請では、町民決起大会での決議文も県教育長に提出。島民の想いを県へ届けた。



町民の想いとは真逆

年が明け1月13日（金）に県教育庁は県立高校編成整備計画の実施計画案を発表した。その計画案

では前期・中期・後期に分け、県内高校の再編・統合の検討が示された。久米島高校は前期計画の中に、普通科2クラスで普通科に園芸コースを設置するという計画案が出された。「園芸科の存続」という町民の願いは叶わないのだろうか。

久米島高校の再興を！

園芸科存続に向けて議会・行政・教育委員会・町民が一体となり「久米島高校課題検討委員会」が組織された。久米島高校、そして久米島の発展を目指して「久米島町・県立久米島高等学校人材育成等連携事業（素案）」を作成した。海洋深層水の活用による植物栽培研究や、姉妹提携する米国ハワイ州ハワイ郡の高校との文化交流など、町と高校が一体となった連携事業に取組、「魅力ある学校」を目指す。

2月14日（火）喜久里議長、仲村副議長は平良町長、島尻郡区選出の沖縄県議会大城一馬議員、

新垣安弘議員らと共に、県教育庁に事業案を提示し、実施時期の見直しを要請。また、県議会議長、県議会の各会派を訪ねて協力を求めた。現在、久米島高校の再編は前期で計画されているが、後期計画以降への変更を要望。



その間、志願率低下と定員割れを改善するための様々な事業に取組、園芸科存続の道を切り開く。この大きな問題に取り組むには私たち議会や行政、教育委員会、学校だけでは到底解決できない。私たちは久米島高校園芸科存続に全力で取り組みます。町民の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

仲里中学校にクリスマスバージョンの装飾▶ (2年草花コース)

▼無農薬水耕栽培ネギ (3年野菜コース)



平成23年12月(第10回)定例会は、12月19日(月)20日(火)の2日間の日程で行われました。

定例会では、議案6件、報告1件、同意1件、決議1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。19日(月)の一般質問では11人が登壇し活発な審議が行われました。

12月定例会で 決まったこと

平成23年度補正予算

全員賛成

- 一般会計補正予算(第4号)
76億2537万円(4216万円増)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
13億1269万円(4697万円増)
- 下水道事業特別会計補正予算(第4号)
2億9199万円
- 水道事業会計補正予算(第1号)

条例の改正

全員賛成

- 具志川農村環境改善センター条例の一部を改正
円滑な運営管理を図るため、また指定管理者制度を導入するため
- 町立保育所条例の一部を改正
町立久米島保育所を民営化するため

報告

- 平成21年度決算に基づく健全化判断比率の修正報告

人事

全員同意

- 監査委員の選任
仲村昌慧

議員提出

全員賛成

- 田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議し、環境影響評価書の提出の断念を求める抗議決議について
(全文を14ページに掲載)

一般質問一覧

- 幸地 猛(5ページ)
 - ・雇用の確保について
 - ・美崎背後地の企業誘致進捗状況について
 - ・地産地消について
- 仲村昌慧(6ページ)
 - ・鳥島射爆撃場について
 - ・職員採用について
 - ・レジ袋タイプの指定ゴミ袋導入について
- 島袋完英(7ページ)
 - ・下水道工事の進捗と接続状況について
 - ・兼城港の整備とフェリー乗り場の整備について
 - ・久米島まつりの形態について
 - ・赤土流出防止対策について
- 翁長 学(8ページ)
 - ・町の農林、水産、商工、観光における新年度予算について
 - ・久米島航路のJTA、RACに移管する件について
- 崎村正明(9ページ)
 - ・新たな“山羊肉文化”に期待したい
- 玉城安雄(10ページ)
 - ・県立高等学校編成整備実施計画(素案)での久米島高校園芸科廃止について
 - ・教育行政について
- 平良義徳(9ページ)
 - ・普通河川の土砂の除去について
- 棚原哲也(11ページ)
 - ・本町の観光振興方策について
 - ・高速船(旅客船)の導入について
 - ・具志川漁港の利用状況について
- 饒平名智弘(12ページ)
 - ・久米島高校園芸科の廃科について
 - ・久米島一周線の街路樹について
- 宇江原 総清(13ページ)
 - ・鳥島射爆撃場の早期返還について
 - ・コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)
 - ・久米島ホテル館の移管について
- 喜久里 猛
 - ・久米島の未来について



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求めます。

質問と答弁の内容を要約して掲載しております。
※ここでは年号(平成)を省略しております。



幸地 猛 議員

問 雇用の確保 町民に働く場を！

答 農林水産物の製造加工業、第6次産業化、 深層水複合利用事業などを推進する

幸地 雇用の確保は町の最重要課題であると思っている。

「働きたくても働く場所がない」「仕事がない」など町民の声として一番強い要望があるのは雇用の問題である。町の方針を伺う。

町長 雇用の確保については最重要課題として取り組んでいる。第1次産業である農業・水産業を中心に振興策を図り、農産物・水産物を活用した製造加工業を

推進し、さらに観光業と結びつけた第6次産業化を推し進めながら雇用対策を図っていく。また、

海洋深層水利用事業やゴルフ場などの大型プロジェクトの推進により、雇用対策を図っていく考えである。

総務課長 短期的には、県の緊急雇用対策事業や、町の緊急雇用創出推進基金を活用して緊急的な雇用の確保を図っていく取組をしている。



問 地産地消の取組状況は？

答 将来的には直売所を拠点として 久米島全体の地産地消を図る

幸地 地産地消について町の取組状況は。

町長 地元で生産されている産物の調査や消費動向を調査し、地産ネットワークを構築していくための準備を進めているところである。大きな問題は夏場の野菜が供給できるように試

験栽培を行うなど栽培技術を高め、年間を通して供給できる仕組みづくりをしている。また、水産加工場施設や直売所の施設整備を図るための事業の導入を進めており、将来的には

直売所を拠点として久米島地域全体の一体的な地産地消の推進を図っていきたくて考えている。また、

しては、業者登録をして出荷体制を整え使用する考えである。

地産地消を進めていくことは、雇用の大きな起爆剤になると思う。

幸地 給食センターでの使用状況はどうか。

教育課長 量とその時期の問題がある。給食センターと



▲ゴーヤーの日(5月8日)に学校給食で島内産のゴーヤーを食べる様子

問 答弁に対する責任を！

答 全力で取り組む



仲村昌慧 議員

仲村 鳥島射爆撃場の賃貸契約問題で「町長が議会を裏切ることは町長の政治生命は終わりです」と議会で答弁したことに對して、未だにその責任をとっていないが、どう責任をとるのか。

町長 総務課長には鳥島射爆撃場問題が少しでも前進するよう全力で取り組んでもらいたい。

仲村 答弁の言葉の責任、はじめは辞職しかないと思うが。

仲村渠総務課 議会

に説明する機会を失したことは、事務方として責任を感じている。非常に困難な基地問題が確実に成果を上げて来ている。

仲村 成果だけを評価して、責任の取り方をすり替えている。私は、町長は議会に嘘をついて騙していますよと指摘したが、それをどう受け止めているか。

町長 詳細について議会に説明しなかったことは謝罪したが、議会を騙したつもりは毛頭ない。

仲村 町民は責任の取り方について納得していないと思う。批判されるであろう。

問 職員採用試験 今後の試験実施方法は？

答 各試験委員の意見を踏まえ、実施計画を定めたい

仲村 職員採用試験で23年度は去年の反省を踏まえて実施方法に若干の修正を加えたと答えているが、修正点は何か。今後の方針を伺う。

町長 職員採用試験で前年度から変更になった点は、①職員採用試験委員会規程を制定し委員長を副町長とした②作文試験の採点を外部へ委託③面接試験の委員に外部の学識経験者を1人加えた④町長の政策加点を廃止し、面接等の中に、書類審査点を設けた。今後については、23年度の採用試験結果の各試験委員の意見を踏まえ、次年度の採用試験実施計画を定めていきたい。

仲村 政策配点は法的に問題ないのか。

仲村渠総務課長 任命権者に与えられた裁量権の範囲だと考える。

仲村 今年は政策配点を廃止した理由は何か。

仲村渠総務課長 試験委員の意見を踏まえて政策配点はなくしたが、町長による書類審査点を設けた。



島袋完英 議員

島袋 儀間・嘉手苅地区は、多くの公共施設を容認してきたが、下水道工事が進んでいないのはなぜか。家を新築しようと思っても他の地区と100万円ほどの差がある。いつからできるのか。

町長 当初、農林水産省の事業で計画していたが、両村合併に伴い建設省の事業で実施することで協議済み。23年度には基本計画の業務を発注しており、現在認可済みの銭田・山城の整備後になる。

問 嘉儀山地区の下水道工事の遅れはなぜか？

答 銭田、山城の整備後に工事する

兼城港湾の整備

問 フェリー乗り場の改善とターミナルの活用を！

答 バース改修の設計を実施中。ボーディングブリッジは、新ターミナルの構想と合わせて検討

島袋 フェリーのバースを現ターミナル前に移動し、もつと利用しやすいようにすべきでは。夏場港で利用者が並んで乗船待ちをしている光景を見たことがあるか。リピーターどころか、観光客増も期待できない。現ターミナルもほとんど活用されていない。バースの変更とターミナルからフェリーへのボーディングブリッジを設置し、ターミナルとしての運営をしてほしい。また、泊港でも待合所とフェリーがあまりにも遠すぎるこの苦情も多い。改善策は。久米商船の町の持ち株はいくらか。大型船、高速船の導入計画はあるのか。



前へ移動するための設計を実施中。ボーディングブリッジについては、新ターミナルの構想と合わせて検討中。泊港の改善として、貨客船を那覇港へ集約し、高速旅客線については泊港をそのまま活用する予定はあるが、まだ計画の実施時期が確定していない。泊港の現状については、港湾管理者に適宜、改善を求めている。久米島町の持ち株は1480株(14.8%)。大型導入は、24年6月就航に向け発注済み。また高速船導入については、2隻目のフェリー更新時期に考えている。

問 新年度予算 農林、水産、商工観、光に大幅な予算措置を！

答 効果的、必要な予算確保は大事



翁長 学議員

翁長 23年度は3月11日の東北における震災に始まり、低温気象による作物の生育不良、早い時期の台風により各産業に大きな影響を与えている。町として大幅な予算措置をしてほしい。

町長 今年は、産業の振興を図る上で大変厳しい状態が続いている。効果的な予算の確保は大事。関係各団体の意見を聞きながら、発展的な諸施策の検討をしていきたい。



翁長 24年度予算が、3月の議会において大幅に伸びることを期待。

問 ジェット便減便への対応は？

答 関係機関に対して必要な要請を
していきたい

翁長 久米島航路にはJTA、RACが運航しているが、JALの路線再編により久米島のJTA便が削減されるという報道がある。航空貨物を頼りにしている業種、そして観光に大きな影響を与える。町としてどのような対応をするのか。

町長 多量輸送としてのジェット便が減されると観光誘客や車エビ等の産業振興に大きな影響がでてくる。地元関係団体に要請活動をする。

平良産業振興課長 11月にJTA、12月



翁長 ジェット便は

に県知事、県議会に要請した内容がどう返ってくるか、それを見極めながら情報を収集し対応していく。

特に観光客、修学旅行が利用する。大量輸送できる飛行機が確保されないと、島に來にくい状況となる。町としてJTAに対して町民の声を。



崎村正明 議員

問 新たな「ヒージャー文化」に期待したい



答 ヤギ振興を 県と連携し取り組みたい

崎村 ヤギ肉と言えば、家の新築祝いや諸行事後、慰労会等で食されていた。島の人たちは昔からヤギ肉に含まれているタンパク質はスタミナ源であることを経験的に知っていた。しかし、その特有なにおいのためか最近食べない人が増え、ヤギ料理がなくなるのではないかと心配する声もある。町として県のヤギ振興活性化事業などを利用して、新たな「ヒージャー文化」を広げていく必要があると思うが、町長の所見

を伺いたい。

町長 「ヒージャー文化」は現在も民間に継承され定着されていると思う。新たな文化としても民間レベルで継承するべきことだと考えている。ヤギの振興については、県と連携を図りながら取り組みたい。

崎村 新聞などでヤギの人工授精「ポア」種普及、ヒージャー文化の発展とブランド化について、期待を抱く記事が相次いで掲載されているようだ。ヤギ生産者の今後の取組は何が必要か。

平良産業振興課長 県の進めている品種改良や人工授精の技術開発など、情報を収集し、県と協力しながら進めていきたい。

問 普通河川の土砂除去について

答 12月補正でしゅんせつできるようにする



平良義徳 議員

平良 通称「カーゾーメー」橋付近から久米島高校付近を流れる川の至る所に土砂が蓄積、ヘドロ化し、水の流れが悪く頻繁に悪臭がする。早急に土砂の除去をして頂きたい。

町長 以前に重機を手配してしゅんせつの段取りをしたが、川沿いの用地が民有地、一部拝所であるとの事で、断念した経緯がある。地権者の理解が得られれば実施に取り組む。

平良 しゅんせつす

るための用地はキビが植えられているが、耕作者の承諾、また拝所以外の敷地についても管理者の承諾は得ている。

盛本建設課長 これは予算の問題もある。現在、予算はないが補正予算で対応したい。

平良 公立病院、博物館それから現在建設中の特養ホーム等の汚水は、ろ過して当該河川へ流されるので、この河川は重要である。

問 久米島高校園芸科廃止(案)に 対しての対策は

答 引き続き存続に向けて 要請行動を行う

町民の思いとは、明があったが、画(素案)の説明が、久米島高校の編成整備計画より久米島高校の編成整備計画(素案)の説明が、町民の思いとは、



玉城 久米島高校園芸科の存続問題は町民多数の反対にも関わらず、廃科ありきで進んでいるように思われる。久米島町としても早急な対策を立て、県教育庁に対して要請すべきだと考えるが見解を伺いたい。

比嘉教育長 8月22日及び11月29日に沖縄県教育庁総務課より久米島高校の編成整備計画(素案)の説明があったが、町民の思いとは、

真逆となり、町としては承服できるものではない。12月11日に町民総決起大会を開催、13日には県知事、県議会議長、県教育長に園芸科存続の要請活動を行った。また、引き続き町民の思いとしてこれからも情報を収集し要請行動を続けていく。

町長 園芸科廃止問題は少子化と定員割が恒常的に続いているのが原因。それを離島の責任と片付けられる問題かという部分もあり、今回の要請行動はその部分を強く訴えた。



玉城安雄 議員

問 中学校統廃合の進捗状況は？

答 25年度を目処に実施する方向

玉城 久米島町立幼・小・中学校統廃合検討委員会で、中学校の統廃合が優先的に行うということが決定されているが、その進捗状況ならびに町の方向性を伺いたい。

比嘉教育長 現在、久米島中学校と仲里中学校の統廃合について検討委員会で話し合いを進めながら、久米島中学校校区の保護者と児童、生徒にアンケート調査を実施し、調査報告と意見交換を行った。今後の方向性としては、年度内に決定できれば、準備委員会の立ち上げなど平成25年度を目処にして統廃合に向けて進めて行きたい。

玉城 地域の統廃合凍結解除や、その他

の問題が解決できなければ25年度以降にずれぬのか。

田端教育課長 明確に凍結解除というのは受けていないが、保護者と意見交換する中で、統廃合を進めるべきだという感触を持っていて、それをステップに仲里中学校校区の意見もふまえ25年度に向けて進めたい。



棚原哲也 議員

問 高速船の導入を！

答 早めに取りかかれるように努力したい

棚原 町長の選挙公約に高速船導入があり3人体制でプロジェクトチームを作り、調査検討されたかと思う。これまでの調査の進捗状況は。また、高速船導入について久米商船との交渉の結果報告と、今後の導入についての考え方を伺う。

町長 町としては、建造に向けた財源計画を示しながら具体的な導入時期の調整を行う予定である。目標としてはフェリーくめしまの引退時期が最も良いタイミングではないかと考えている。

棚原 J T A のジェット便の就航ができなくなるのであれば、この高速船の導入は久米商船と調整する必要があると思うが、見解を伺いたい。

中村プロジェクト室長 ジェット便が減便された場合、本当に団体客の誘客や修学旅行の対応を含めて高速船の導入は急ぐ必要があると思う。最悪のジェット便の撤退を想定して、早めに取りかかれるように努力したい。

問 具志川漁港を元の海岸線へ

答 現状に戻すべきかどうかも含め 県と調整中

棚原 台風時の荒波の影響で、斜路船揚場が崩壊し、使用不能な状況にあると思われるが、今後の取組を伺う。

町長 費用対効果やその他の難題があり、事業化は見送られている。今後かねばり強く国や県と調整を図りながら再整備に向けて努力する。

盛本建設課長 漁業従事者や組合から要望にも繋がると思われる。今後再整備されても漁港として、利用される可能性がほとんどない。元の綺麗な海岸に戻す方法を模索してみているどうか。

望があつて造った経緯がある。現状に戻すべきを含めて県と調整している。

町長 関係者の意見を集約して、どっちが良いか判断して、それから事業導入に向けて検討する。

棚原 今回3回目の決壊であり、工法を変更して整備しても台風襲来の度に決壊すると思う。また、現状のまま放置しておくと背後の道路決



問 久米島高校園芸科の 廃科について

答 町民一丸となり撤回を求める



饒平名智弘 議員

饒平名 久米島高校編成整備実施計画案について、町長の考えを伺う。

町長 県知事、県議会議員、県教育長に対し、園芸科存続の要請行動を行ってきた。町民一丸となりて撤回を求めて行きたい。

饒平名 園芸科の廃科については同僚議員の質問で、町長の考えは理解できたと思う。町長に提言したい。久米島高校の存続発展を考える会にぜひ参加し、町の責任者として、地域

のみなさんの話や意見を直接聞いて欲しい。また園芸科を残すことを県に要請するだけではだめだと思う。生徒が島の高校に進学する環境と親の理解が無ければ、解決できない問題だと思う。約30%の生徒が島外の高校に進学している。子供たちを久米島に残す運動を私たち議員や行政がともに協力して行う必要があると思う。

問

久米島一周線の街路樹対策は？

答 維持管理を注意してもらおう

饒平名 空港線などに街路樹として植栽されている松がたくさん枯れているが、その原因は何か。その対策について町長の考えを伺いたい。

町長 枯死木については撤去する。

饒平名 確認したところ、ほぼ全ての枯れた松が伐採されている。久米島は緑の島だが飛行場線を通ると松の立ち枯れや枯れかかっているのが目立つ。島の玄関口として印象が非常に悪いので、早急に対策を取るべきと思う。松のせん定時期



や夏に台風が来るのは誰でも分かる。単なるミスで終わらすことはおかしい。松の立ち枯れは以前にもあった。お金に変えろとすごい金額になる。県の事業だが、久米島の財産でもある。枯れた松をいつ植え替えるのか伺いたい。

大田副町長 指摘のある通り、2回ほど南部土木の所長には苦言を申し上げている。島の玄関口が枯れ木や枯れ葉で散らかっている状況は非常に見苦しい。今後、時期をみてせん定するように維持管理を県に注意してもらおう。



宇栄原総清 議員

問

鳥島射爆撃場

ウラン弾の被曝に対する危険性

答

学者の見解には幅広い意見がある

宇江原 町長と総務課長は劣化ウラン弾について「福島第一原発とは違い、臨界の恐れはない。」と答弁している。肥田舜太郎、鎌田ひとみ共著の「内部被曝の脅威」原発から劣化ウランまで」によると、劣化ウラン弾にプルトニウムやウラン236等が含まれて

いることが分かったと言つ。プルトニウムの毒性はウランの一万倍とあること。エアゾール化したこの放射生物質は体内に入ると母親の子宮のバリエーを通り抜けて胎児に蓄積し、影響を与えているという。このような研究、調査が発表されても、町長はなおも

劣化ウラン弾の危険性はないと思うか伺う。

町長 劣化ウラン弾に関する学者の見解については、幅広い意見がある。WHOやIAEA、国連等公共的機関の見解を基本として判断する。
宇江原 WHOやIAEA等は、内部被曝を認めていないと批判されている。

問 シンリ浜のコンクリート護岸の撤去

答 海岸線の見直しを県と調整する



宇江原 シンリ浜の護岸の撤去と仲泊、大田一帯の海岸線の見直しが必要と考えらるかどうか。

町長 海岸線の見直しについては県と調整する。

宇江原 大津波に見舞われた東北各県は、新たな津波の襲来に備え、高さ5メートルから11メートル余りの堤防を築く計画という。身の安全第一と景観が壊れることの複雑な思いの人たちもいるという。三

陸はリアス式海岸で深い海底に直行している。想定外のゲリラ豪雨が起きたら、高い冠水となって人災とならないか。しかし、シンリ浜は海側にリーフがあり、前衛の役割を果たす。また、モクマオウ等の防潮林があり、砂丘は海拔10メートルにもなっていることから、シンリ浜のコンクリート護岸を撤去してもよいのではないか。

第8回臨時会で 決まったこと

会期 平成23年11月24日

条例の改正

全員賛成

- 町職員の給与に関する条例の一部を改正

第9回臨時会で 決まったこと

会期 平成23年12月8日

議員提出

- 議会広報調査特別委員会設置に関する決議
- 「県立高等学校編成整備実施計画」の素案に反対し久米島高等学校の現状維持を求める要請決議

田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議し、環境影響評価書の提出の断念を求める抗議決議（全文）

平成23年11月28日、沖縄防衛局の田中聡前局長は、報道陣との懇談会の席で、普天間飛行場代替施設事業に係る環境影響評価書の提出時期を明言しない理由を問われたことに対し「これから犯す前に、犯しますよと言いますか」と性的暴行に例えた発言をしたことが報道で明らかになった。

非公式の席とはいえ、沖縄における防衛省のトップである沖縄防衛局長が、このような暴言とも言える人権感覚を欠いた発言をしたことは、県民と女性を侮辱し愚弄するもので、誠に許しがたい言動である。

沖縄は、国土の面積でわずか0.6%に過ぎないのに、今もなお74%の在日米軍基地が集中させられている。そして県民は、米軍基地があるがゆえに、米兵による少女暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、そして人権蹂躪を戦後66年間も強いられている。

沖縄防衛局長は既に更迭されたとはいえ、今回の発言は、県民感情を逆なでするだけでなく女性の人権を無視し、人間の尊厳を踏みとじるものであり、到底看過できるものではない。

さらに、政府は、謝罪し更迭した直後にもかかわらず環境影響評価書を提出すると明言しており、今後も沖縄に基地を押しつける政府・官僚の本音が見え、沖縄蔑視と差別意識を露呈しており、到底許されるものではない。

よって、本町議会は、怒りを込めて田中聡前沖縄防衛局長の発言に強く抗議し、県民の前での発言の撤回及び謝罪と防衛大臣の責任を明確にするとともに、環境影響評価書の提出を断念することを強く要求する。

平成23年12月19日

【提出先】内閣総理大臣・防衛大臣・内閣官房長官・沖縄及び北方対策担当大臣

議会を傍聴 しませんか？

次回定例会は **3月7日(水)** 10時開会予定

手続きは簡単。議会事務局（仲里庁舎2階）で、住所と名前を書くだけです。（9時45分までにお越しください。）

12月定例会傍聴者人数▶ 12月19日(月) 23人 20日(火) 1人

第4期

新体制スタート



平成23年12月8日、議員選挙後初の議会を開き、議長、副議長、各常任委員会委員の選任などを行いました。議員任期は、平成27年11月30日までの4年間。議員定数は14人です。

議長 喜久里 猛

副議長 仲村 昌 慧

常任委員会

※常任委員会は会議に提出された議案などを分野別に分けて審査・調査するために設置されていますが、久米島町では現在、全議員で審査・調査を行っています。

総務・文教・民生委員 (6人)

委員長 安村 達 明
副委員長 平 良 義 徳
委員 翁 長 学 山 里 昌 輝
饒平名 智 弘 幸 地 猛

建設・経済委員 (7人)

委員長 島 袋 完 英
副委員長 棚 原 哲 也
委員 宇江原 総 清 崎 村 正 明
玉 城 安 雄 仲 村 昌 慧
喜久村 等

議会運営委員

委員長 島 袋 完 英
副委員長 安 村 達 明
委員 棚 原 哲 也
平 良 義 徳
仲 村 昌 慧

※議会運営委員会は議事の円滑な進行を図るため、議会の運営について協議することを目的として設置されています。

広報特別委員

委員長 仲 村 昌 慧
副委員長 崎 村 正 明
委員 翁 長 学
宇江原 総 清
饒平名 智 弘

※特定の事柄について専門的に審査・調査するため、特別委員会が設置されます。久米島町では広報特別委員会が設置され、議会だよりの発行等を行います。

沖縄県離島医療組合議会	副議長	平 良 義 徳	沖縄県介護広域連合議会	議員	山 里 昌 輝
	監 査	幸 地 猛	南部後期市町村圏事務組合議会	議員	玉 城 安 雄
	議員	安 村 達 明	沖縄県後期高齢者医療広域連合議会	議員	宇江原 総 清

久米島町議選監査委員 仲 村 昌 慧

旭日単光章受賞
山城次郎さん

おめでとうございます

地方自治功労者に対し授与される高齢者叙勲で、山城次郎さん(字謝名堂)が旭日単光章を受賞されました。12月21日(水)、沖縄県知事公舎レセプションホールで叙勲伝達式が行われ、勲記と勲章を授与されました。

山城さんは昭和41年9月に仲里村議会議員として初当選して以来、5期20年の永きにわたり議会活動に精励されました。特に、農業等産業基盤整備を本村経済発展の最重要施策としてとらえ、意欲的に取組、地域経済の振興発展に尽力しました。

また、字謝名堂区長(昭和37年~41年)や仲里小学校PTA会長(昭和40年~44年)などを努め、地域に貢献した功績も大きい。さらに、昭和47年11月から平成14年12月までの30年間の永きにわたり、保護司として犯罪のない明るい社会を築くため、社会奉仕の念と温かい人間愛を持って取組、不幸して罪を犯した人たちの善導、更正保護に努めました。



議会の
うごき

■ 平成23年11月

- 2日 沖縄県市町村総合事務組合運営委員会に議長出席
- 4日 那覇地区駅伝久米島大会開会式
- 7日 ●広報特別委員会
- 24日 ●議会運営委員会
●第8回臨時会
南部地区市町村議会議長会役員会・定例会に議長出席
- 25日 離島フェアオープニングセレモニーに議長出席
- 29日 広報研修会に広報特別委員出席

■ 平成23年12月

- 5日 ●当選議員全員協議会
- 8日 ●第9回臨時議会
- 11日 町産業まつりに議長出席
- 11日 久米島高校園芸科存続・町民総決起大会に議長ほか出席
- 13日 久米島高校存続を求め、県知事、県議会、県教育長へ要請行動
- 15日 ●議会運営委員会
- 19日 ●12月(第10回)定例会
- 20日 ●12月(第10回)定例会
- 21日 離島医療組合議会定例会に議員出席
- 22日 久米島農業開発組合理事会に議長出席
- 25日 久米島町老人クラブ連合会忘年会に議長出席
- 27日 兼城港旅客ターミナル整備事業検討協議会に

議長出席

■ 平成24年1月

- 4日 野菜・花卉合同初荷式に議長出席
- 5日 町新年会に議長ほか出席
- 6日 消防出初め式に副議長ほか出席
南部地区議定会定例総会に議長出席
南部振興会表彰式及び祝賀会に議長出席
南部地区合同新年懇親会に議長・副議長出席
- 8日 町成人式に議長ほか出席
- 10日 T P P 参加反対総決起大会準備会に議長出席
- 11日 特別養護老人ホーム棟上げ式に副議長出席
久米島製糖(株)ボイラー工事落成式・祝賀会に議長出席
- 16日 南部離島市町村長・議長連絡協議会に議長出席
- 18日 久米島家畜せり市場 初せりに議長出席
- 19日 T P P 交渉参加に反対する町民総決起大会に議長ほか出席
- 21日 新年度予算、一括交付金、雄謹話振興計画等の勉強会に議長出席
- 25日 ●第1回全員協議会
- 27日 久米島製糖(株)操業開始式に議長出席
- 28日 久米島町新春書道展オープニングセレモニー・表彰式に議長出席
- 30日 宮里恵美子氏 浜田賞基金受賞祝賀会
- 31日 楽天イーグルス歓迎セレモニーに議長ほか出席
楽天球団との懇談会に議長出席

編集後記

12月議会は、改選後初めての定例会でした。一般質問は議長を含め11人の議員が25項目について質問しました。住民の代表である議員にとって、一般質問は執行機関に対して説明を求めたり、事実を質したり、また政策を提言するものであります。

本町議会は、平成15年に県内で最初に一般質問の答弁の通告制を採用していますので、再質問がスムーズで活発な質問が行われています。

今回、役場仲里庁舎にテレビモニターを設置し、テストケースとして一般質問の模様を放映しましたが、大変好評でありました。みなさんもぜひ一度、議会傍聴やモニター観覧にお越しください。(仲村)

広報委員
仲村 正昌
崎村 明慧
翁長 正学
宇原 智弘
饒平 弘